

事業番号	事務事業名	地域ケア会議推進事業費	所管課名	保健福祉課	令和 2 年度課長名	水島 剛
24199	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	介護保険係	担当者・シート作成者
	施策名	14	高齢者福祉の推進	根拠法令等	介護保険法(平成9年法律第123号)	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	<p>*中地域ケア会議では、各振興センターがと包括が主体となり会議を運営している</p> <p>*個別地域ケア会議が定期的開催できるように、包括と話し合いを行いながら具体的な内容(事例の対象、アドバイザーの選定、日程調整、資料準備等)を協議した。</p>	平成27年4月に介護保険制度の改正に伴い、地域包括ケアシステムの構築に向けた地域支援事業の充実があり、その中で地域ケア会議の推進が示されている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 65歳以上の町民	ア 65歳以上の町民人口	人	見込 実績	4,750 4,740	4,750 4,747	4,694 4,757	4,788	4,720
イ	イ		見込 実績					
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 地域の課題を政策形成に結びつけ、安心して暮らせるようにする	ア 安心して暮らしている高齢者数	人	目標 実績 達成率	4,750 4,740 99.8%	4,750 4,747 99.9%	4,694 4,757 101.3%	4,788	4,720 100.8%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 会議の開催	ア 住みやすい町づくり会議開催回数	回	目標 実績 達成率	3 1 33.3%	3 3 100.0%	3 0 0.0%	3	3 0.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 24		款 05		項 02		目 09		大事業 中事業					事業番号	
	介護保険特別会計(保険事業助定)		地域支援事業費		包括的支援事業・任意事業費		地域ケア会議推進事業費		01	01	地域ケア会議推進事業費				24199
予算(千円)	30年度実績	1年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度見込	前年比	決算(千円)	30年度実績	1年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度見込	前年比		
国庫支出金	1,420	1,418	1,587	1,475	1,494	169	国庫支出金	1,271	1,282	1,431	1,475	1,494	149		
県支出金	710	709	794	738	747	85	県支出金	627	641	715	738	747	74		
町債							町債								
その他特財	710	709	794	738	747	85	その他特財	627	641	715	738	747	74		
一般財源	808	846	948	868	888	101	一般財源	716	766	855	868	888	89		
合計	3,648	3,682	4,123	3,818	3,875	440	合計(A)	3,241	3,330	3,716	3,818	3,875	386		
財源名称	国・県:地域支援事業交付金(包括的支援事業・任意事業)						従事正職員人数	1	1	1	1	1			
	地域支援事業繰入金(包括的支援事業・任意事業)						延べ業務事務時間	12	12	12	12	12			
							人件費計(千円)(B)	41	42	40	40	40	-2		
最終予算額		4,123 千円		予算執行率	90.1%		トータルコスト(A+B)	3,282	3,372	3,756	3,858	3,915	384		
主な支出事業内容(予算)	委員報酬						204 千円		主な支出事業内容(決算)	委員報酬					0 千円
	委託料(物)						3,738 千円			委託料(物)					3,716 千円

事業番号	24199	事務事業名	地域ケア会議推進事業費	所管課名	保健福祉課
------	-------	-------	-------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、医療・介護・予防・生活が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を目指している。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
社会福祉協議会、地域包括支援センターと協議を行いながら、それぞれの会議を開催している。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
個々に行っている地域の取り組みや町の施策を系統立て、必要なときに必要な制度が利用できるようにしてほしい。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	住み慣れた地域で安心して暮らせる地域支援サービスの構築などを指すものであり、政策体系に結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	介護保険法第115条の48に規定されている事業で、高齢者が自立した日常生活を営むために必要な支援体制に関する検討を行うものであり、町と包括、社協と一体化して行うことが必要である。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	介護保険法に規定されている地域支援事業であり住み慣れた地域で安心して暮らせる地域の構築を目指すものであり、対象も意図も妥当である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	個別事例の地域ケア会議は地域包括ケアシステムの根幹をなすものである。それぞれの地域での会議や、個別地域ケア会議を行うことが課題である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすためには、廃止することはできない。また、子ども世代、若年者についても今後の将来の生活につながることで、影響がある。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	それぞれの会議の開催について、包括・社協・地域が一緒になりながら方法・手段を検討していく必要があり、改善の余地はある。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	事業費は最小限のものであり削減の余地はない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	最小限の人件費にて実施しており、削減余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	地域で高齢者を対象とした生活支援サービスの体制作りであり、公平・公正である。	

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症により、人を招集しての会議が困難であった。包括支援センターと協議を行いながら、地域ケア個別会議の開催についての体制づくりは実施できたため、今後は運営・実施ができるように進めていきたい。各会議について、内容の充実はこのからの取り組みにおいて、包括・社協等と話し合いを行いながら、個々の課題から地域の課題を解決できる仕組みづくりを整えていく必要がある。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 社会福祉協議会、地域包括支援センターと連携し、会議の開催の推進及び内容の充実を目指す。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									

(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)